

12月22日（火）終業式にて 校長講話

新聞やニュースで知っている人もいますが、毎年この時期に「今年の漢字」が発表されています。どんな一年だったかを漢字1文字で表す、1年を振り返る恒例行事になっています。

今年の漢字は何か、知っていますか。『安』。やすいという漢字です。安心、安全の安という字です。安心、安全ならいいのですが、安保法案の安であったり、杭が地層まで届いていない不安であったり、いいイメージではなかったと聞いています。さて、みなさんにとって今年一年はどんな文字だったでしょうか。1年生は、学年全体で取り組んでくれました。それが廊下に貼ってあって、廊下を通る時に関心を持って見せてもらっています。2・3年生の皆さんは、どんな漢字を選んだ人が多かったと思いますか。昨日、全部拾って集計をしてみました。偶然なのですが、同率で3つありました。1つは、友達の『友』。もう一つは楽しいという『楽』。そしてもう一つは『笑』という字でした。1年生の多くが「友達と笑って過ごして楽しかった」と感じてくれているようです。それを見て校長先生としてはとっても嬉しく思いました。もちろん、つらいことや苦しいこともあったと思います。中学校に入ってきた時にはわけが分からず、不安だったこともあったでしょう。しかし、全体的に見て友達と笑って過ごして楽しかったということだったのでしょう。

弥富中学校にとって全体としてはどうだったんでしょう。校長先生は、こう思います。『知』という字。知識、知恵、知る、という字が当てはまるのかなと思います。なぜかというと、1年生は新しい教科である英語を学びました。技術家庭科も学びました。そして新しい知識を吸収しました。2年生は広島に出かけて、70年前にそこで何があったのか、自分の目で見て、ガイドボランティアの方の話を聞いて、知識を得ました。3年生は、まだ太陽がギラギラ照りつける中、どうやったら1・2年生をまとめ、自分達のブロックを優勝に導くことができるのかみんなで知恵を出し合ってくれました。まさに弥富中学校の一年は知ることのできた一年だったと思います。

みんなは日々の勉強を通して知識を吸収しています。しかし、知識だけでは世の中は回っていきません。そこには知恵が必要です。

ここにりんごが12個、子どもが4人いるとします。どうやって分けますか。頭の中で知識が働きます。3×4、3つずつ分ける。間違っただけではありません。でも、その4人の中に戦争や様々な理由で、ここ2日3日何も食べていない子がいたらどうですか。それでも3つずつ分けますか。違いますよね。この子、お腹を空かせているのか。だったらこの子の1個をこの子にあげていいかな。そんな風に知恵を働かせます。知恵は人を優しくします。世の中を優しくします。

冬休みは家族が集まったり、親戚が揃ったり多くの大人と接する場面があると思います。そんなとき、周りの大人がどんな風に『知恵』を働かせているか学んで下さい。そうすることで弥富中学校がよりよくなると思います。